

# 大阪探検隊

Osaka City Expeditionary party

九州随一の風景街道

## やまなみハイウェイ

やまなみハイウェイは、湯布院と阿蘇を結ぶ約50kmの高原ルートで、由布岳、飯田高原、くじゅう連山、阿蘇山の大パノラマなど、日本離れた雄大な風景が続く人気のドライブコースです。有料道路でしたが、1994年から無料開放されています。

GWに自転車で走って来ましたので、紹介します。



Route  
map

## 蛇越展望所

蛇越展望所から由布岳と湯布院を望む

湯布院(標高約450m)を朝6:30にスタート。やまなみハイウェイの入口、水分峠(標高約700m)まで上ります。

この峠を境に東側の水は別府湾へ、西側の水は筑後川となって有明海へ流れます。

更に標高1000mぐらいまで上ります。途中の蛇越展望所からは遠くに由布岳と湯布院の町を望むことができました。

## 飯田高原へ

飯田高原(標高約800m)に入ると、大草原地帯です。雄大な風景が広がり、煙を上げる硫黄山が遠くに見えます。

途中にある九重やまなみ牧場は、動物と触れ合ったり、体験農業やバーベキューを楽しめる観光牧場です。温泉もありました。楽しみと癒しの心地よい立ち寄りスポットです。



レストハウスや牧場がいくつもあります



飯田高原の風景



九重やまなみ牧場



牧場へと続く道

# 長者原

長者原では湿原を探索することができます。煙を上げている硫黄山がすぐ目の前です。久住山への登山口であり、ビジターセンターやレストハウスが整備され、観光客で賑わっています。



長者原の湿原

## 緑の絨毯

長者原を過ぎると、最高地点の牧の戸峠（標高1330m）までぐんぐん上ります。

牧の戸峠を越えると、阿蘇山が見え始め、瀬ノ本高原（標高約 800m）へ。木がとても少なく、草が青々として、まるで緑の絨毯を敷いたようです。「牛馬優先」の看板も見られます。路肩が狭くて危険なので、自転車も優先にして欲しいなあ。



牧の戸峠を越えた辺りから阿蘇を望む



瀬ノ本高原



咲き誇る菜の花



城山展望台からの眺め

## 大カルデラの中へ

最後に阿蘇の外輪山を越えて大カルデラの中に入ります。外輪山の城山展望台からの眺めは絶景。正面には阿蘇山が、眼下にはパッチワークのような田畑が広がり、周囲も広く見渡すことができます。

ここを一気にJR宮地駅前（標高約500m）まで下ってゴール（14:00到着）です。

再度、外輪山を越え、阿蘇市の東の竹田市（作曲家の滝廉太郎が12～14歳まで住んだ地）まで走って、この日の行程を終えました。

広々とした草原と空間、緩やかな起伏、周りを囲む特徴的な山々…。本当に他ではなかなか見られない風景です。天気も良くて最高でした。1日楽しめる快適なドライブコースです。ただし、自転車にとっては高低差がある上、やや危険を伴うのでお勧めできませんが…。車で是非一度走ってみて下さい。

## 阿蘇の火口

翌日はバスで阿蘇の火口付近を観光しました。ダイナミックな火口、広々とした緑の草千里、別の惑星のような荒野の砂千里、どれもスケールが大きくて絶景です。

ただし、大渋滞で車もバスも動けず大変でした。GWやお盆などの特殊な時期の観光はやめた方がよいでしょう。



阿蘇中岳の火口



草千里



砂千里